



日本のGX戦略の 課題

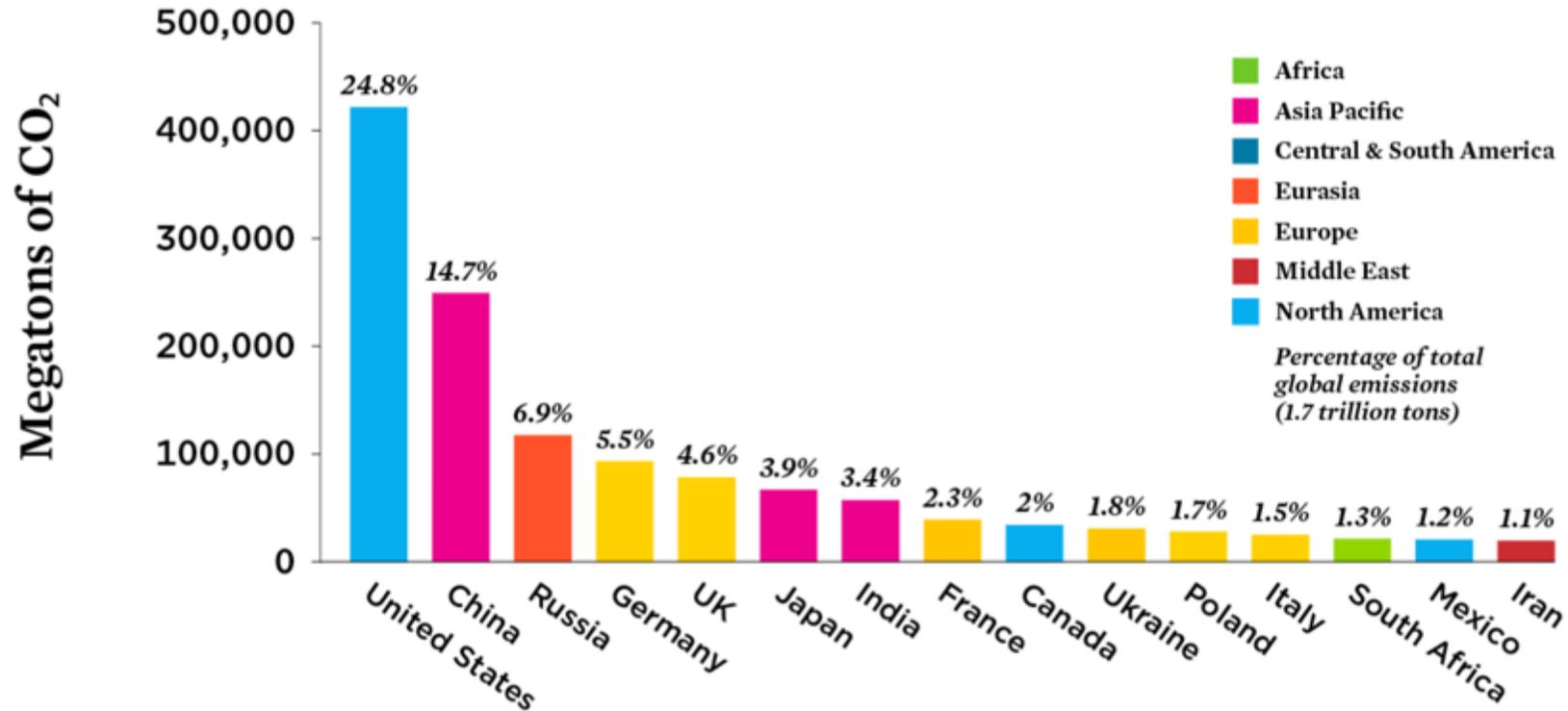
Friends of the Earth Japan

July 20th 2024

概要

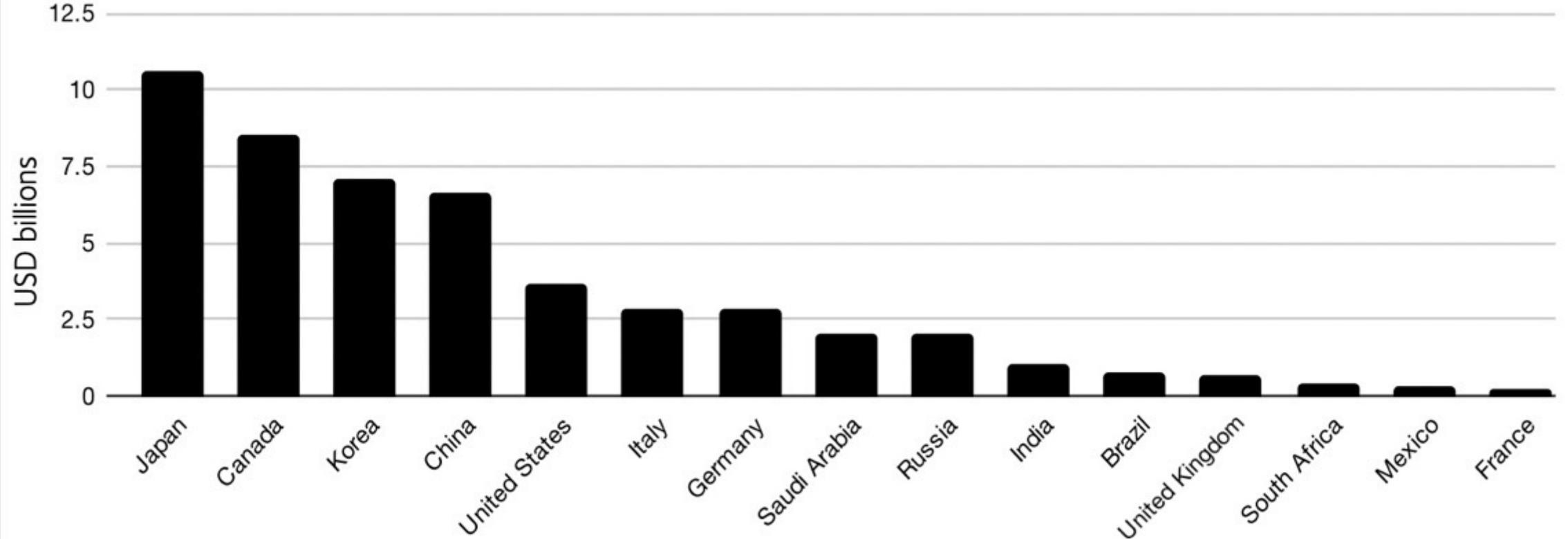
日本の歴史的排出

Top CO₂ Emitting Countries, 1750-2021
(from fossil fuels and cement)



化石燃料事業への投融資

Figure 1: Top 15 G20 country providers of international public finance of fossil fuels, annual average 2019-2021, in USD billions



Source: Public Finance for Energy Database, energyfinance.org.

グリーントランスフォーメーション

- GX（グリーントランスフォーメーション）
＝「化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革」
- 排出削減と経済成長をともに実現する
- 今後10年で150兆円の官民投資を行う
- 省エネ、再エネの推進に加え、原子力、水素・アンモニア・CCS、ガスやSAFなどの推進も含まれる
- 「グリーン」の定義がなく、むしろ排出を促進するような技術も投資・促進対象に



アジアゼロエミッション共同体

- 2022年1月、「アジア各国が脱炭素化を進めるという理念を共有し、エネルギーtransitionを進めるために協力する」ことを目的に、「アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）構想」を提唱
- 「多様な道筋によるネットゼロ実現」を強調し、水素・アンモニア・CCSやガスなど、排出削減につながらない技術の推進も含まれる



Asia's Various Pathways to Net Zero Co-Created by Japan

水素・アンモニア・CCS

- 水素・アンモニアは燃焼時に二酸化炭素を排出しないことから「脱炭素燃料」と位置付けられている
- 一方、ほとんどの水素・アンモニアは化石燃料から作られ、日本では火力発電所での混焼利用が推進されている。
- CCSは二酸化炭素を回収し貯留する事業。火力発電所や製鉄所などに設置し炭素を回収することが目指されている。2050年までに1億 2,000万～2億 4,000万トンのCO₂を貯留する目標。
- バイオマス燃料をカーボンニュートラルとみなし、石炭火力に混焼して「排出対策」を行ったとみなす事例も増加。輸入燃料による生物多様性や森林破壊、排出増加も懸念される。
- 水素・アンモニア・CCSはコストが高く、削減効果は低い。むしろ化石燃料インフラの延命にしかならない。

CO2を海外に輸出

- 日本での貯留コストが高いため、安価に貯留できるとされる海外への輸出事業案件が急増
- 過去2年の間に13件以上
- 主にマレーシア、インドネシア、オーストラリアなど

日本のような国々は、気候危機への責任だけでなくCO₂そのものを他国に移転することを検討している。グローバル・サウスに廃棄物を捨てる行為であり、ばかげている。マレーシアの排出削減努力を台無しにすることになる。将来世代の安全を保証するものではない技術に対し、誰がその費用を支払うのか？

Meena Raman/FoE Malaysia

GXのアジア輸出

- JICAなどを通じ、バングラデシュやインドネシアに、ガスやCCS、アンモニアに依存した計画の策定支援

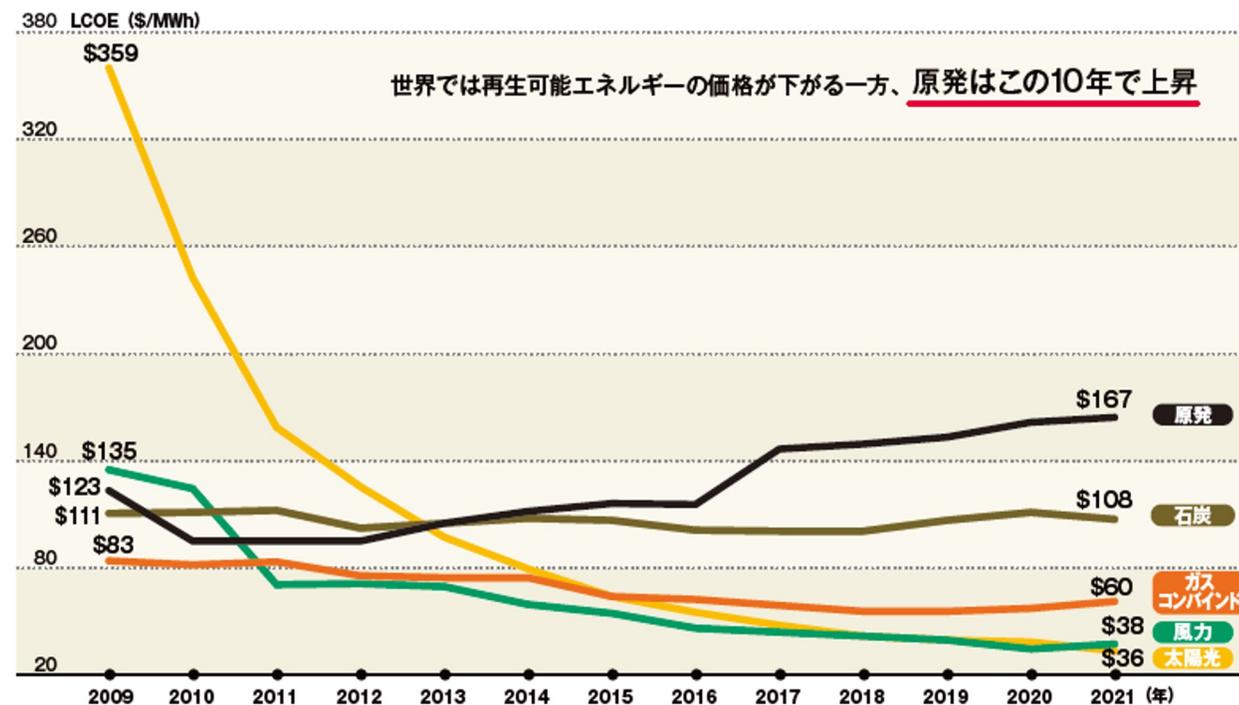
- 公的金融機関（JBIC、NEXI、JOGMECなど）を通じ、ガスやアンモニア、CCS事業を積極的に支援
- AZECの枠組みを通じ、多くの覚書を締結



原子力

- 原発事故後初めてGX戦略の元で次世代原発へのリプレースを容認
- 稼働年数の延長も
- 一方、核ゴミの最終処分場も見つかっておらず、原発立地自治体は再稼働に反対
- ここ10年、再生可能エネルギーの価格は下がる一方で、原発は上昇
- 小型原子炉の輸出も推進。日本で前例はなく、経済性もない

世界的な発電費用の推移



出典：Lazard, “Levelized Cost of Energy Version 15.0” 2021

二国間クレジット

- JCM (Joint Credit Mechanism) を通じ、海外での削減に貢献した分を日本とホスト国で分け合う制度
- クレジットをNDC達成に活用。2030年度までの累積で、1億トンCO2を目標。
- 水素・アンモニアやCCS事業も排除せず
- 国内での削減につながらず、事業の大型化やクレジットの質の低下も招く





Green Transformation
＝グリーンウォッシング？

トランスフォーメーションのために必要なもの

- 気候変動対策＝化石燃料からの脱却
- 「どこへ」の「移行」なのか？
- 日本のGXは移行の先延ばしにしている。
- タイムリミットは迫っている。移行にかかる時間も限られている。
- 確実な削減に資する事業への支援、国内での削減の深掘り、歴史的責任に見合った「フェアシェア」を。

